

緑道で

「便利」から「楽しい!」へ、点から面へ、

これまでの都市計画の原理は、端的に言って、目的の施設や催しに最短で行き、最短で帰ってくることでした。買い物は最速ルートで行って、駐車場を見つけ、終われば、さっさと帰る。仕事や用事があっても、済めば、急いで帰る。けれど、人が都市に集う理由は消費と用を足すためだけなのではないでしょうか?もしそうならば、町が駐車場ばかりになるのは経済法則の結果で致し方ない。だが、歯抜けの景観は都市の魅力を確実に落とし、町から人々が遠ざかるのを加速します。街はあたかも工場の資材置き場のように荒廃するでしょう。街にいても楽しくないから。

都市を未来へ導く原理は、人々が街の中にいかに楽しく滞留できるかということではないでしょうか。人々が街で買い物をするのはその商品を手に入れるだけでなく、ショッピングの楽しみ、感じのいい雰囲気に触れたいからではないか?もし楽しみながら歩き回ることができれば、おのずと賑わいができます。そして、「はしご」してしまう。楽しければ、たとえ距離があってもそれに気が付かないから。

緑化は町に憩いを与えるだけでなく、場所と場所を繋ぐ力があります。並木通りや参道は、その入口と反対の端を繋ぎます。さらにそこに面する建物や景色を中に取り込んで、沿道の施設へ人々をいざないます。そのためには、メンテのいらぬ樹種を選んだり、成長したときの樹形、歩道、車道との取り合いなど、さまざまな細やかな配慮が必要です。町がまるで公園の中にあるように、街路が緑道化で充実すれば、人びとが楽しく、そこに滞留したくなるようになるでしょう。洒落たカフェやお店が建つようになるかもしれません。

緑道化は都市のヒートアイランドやCo2排出を軽減する効果があります。即効性のある計画と、数十年後の効果を考慮した計画をバランスよく取りまぜることが必要です。外国の例から見てみると…

吉原 弘記
ヨシハラ マッキー アーキテクト
2020、12、12

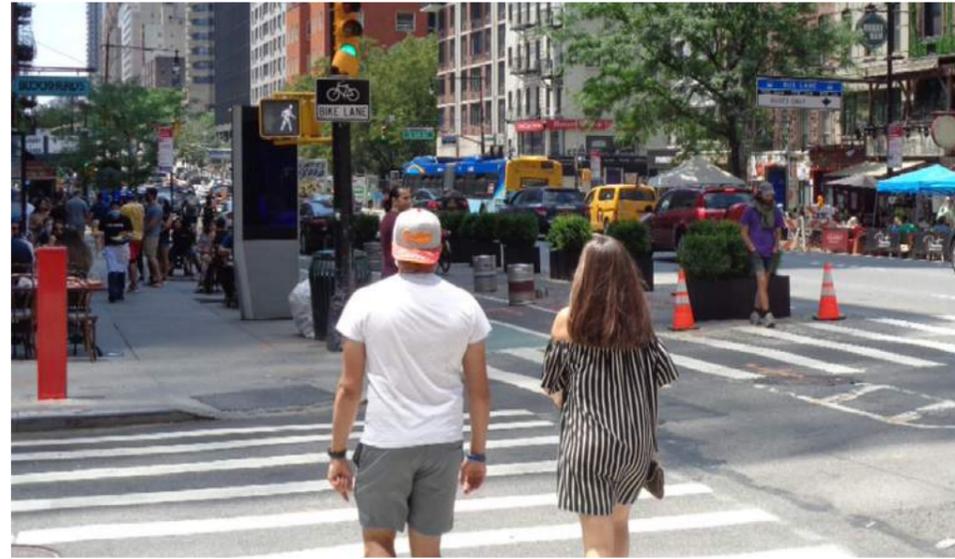


新町川で薪能

「街を楽しむ」そんな街へ

ニューヨーク、ミッドマンハッタンの例

…… 樹木の威力に注目。 ほとんど地元市民



3番アベニュー



2番アベニュー



歩いて「街を楽しむ」そんな街へ…ヨーロッパのカフェの例
……樹木の威力に注目

空間的持続性

賑わいのある街を人々が好むのは、用を足すだけではなくて、街のたたずまい、町全体の雰囲気を感じに行くからでは？ 目的地にたどり着くだけではなくて、町に歩いて出ることが楽しいことになれば街は賑わう。街の要所が繋がり、そぞろに歩きたくなるような魅力的な街が広がっている。
そのためには緑の散策路で名所や主要施設の間を繋ぐのが手っ取り早い方法では？ 木はすぐに成長します。

公園都市

さらに、街が公園の中にあるように緑豊かになれば、……もちろん、そぞろ歩きが楽しくなるような細やかなデザインがされている。



オランダ、ロッテルダム
大戦時、空襲で壊滅するも、
戦略的計画で、美しく復興



歩いて「街を楽しむ」そんな街へ…ベルギー、アントワープの例

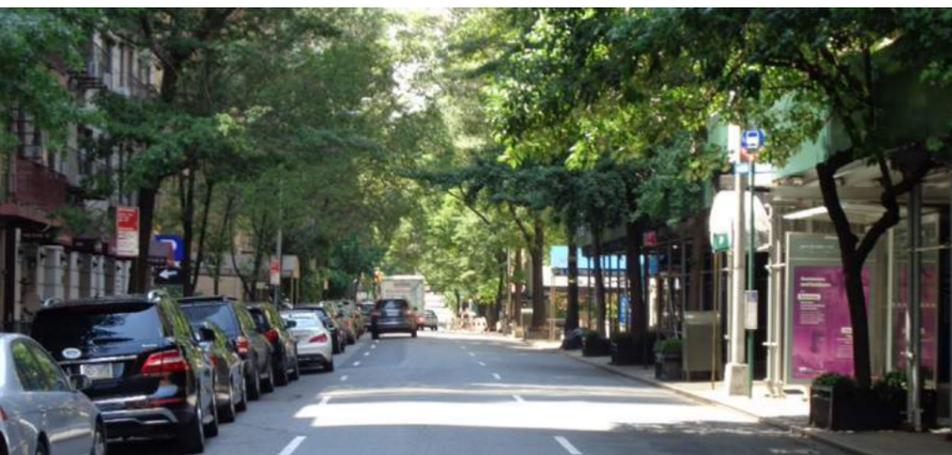
観光客も地元市民もどちらも憩う……

観光名所から川に沿う緑の散策路を歩いて、 しゃれたレストラン!



たたずまいを「楽しむ」そんな街へ……ニューヨーク、マンハッタンの例、

隣り合う9本の典型的な通りより (57番大通りを除いてすべて一方通行)
……樹木の量と、その効果に注目



49番通り



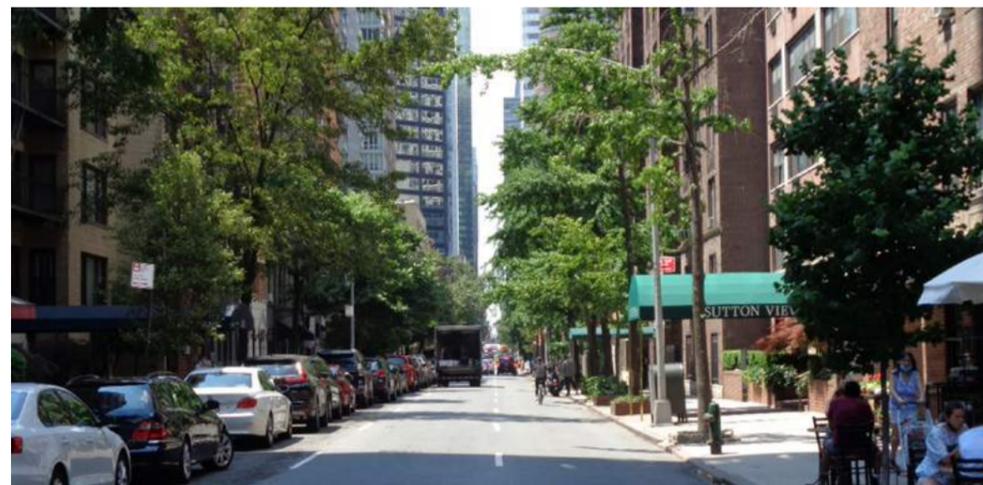
50番通り



51番通り



52番通り



53番通り



54番通り



55番通り



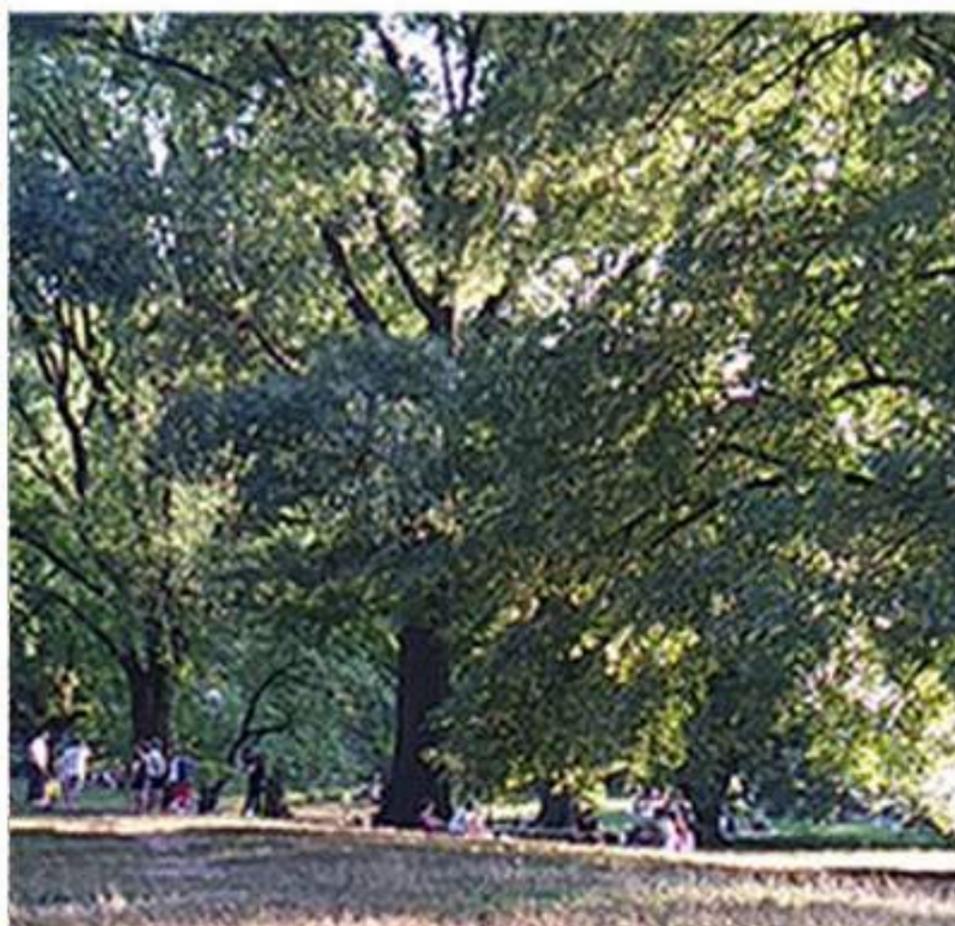
56番通り



57番大通り

生活を「楽しむ」 そんな街へ……セントラルパークの例、

公園は一年中花見。 桜は無くとも…



「点」の名所が緑道で繋がり、「線」に、さらに「面」に



一キロ四方のループ緑道
高知城へ向けて



緑の裏通り
代官山、東京



本社と鳥居門を繋ぐ参道
表参道、東京



狭い道でも
代官山、東京

美しく、魅力的になれば、市民は街にでる。訪ねてみたくなる



目先の便利性ではなく、町のたたずまいの美しさを、資源としてとらえている。緑道化によって、観光を通して街が賑わい、面状に広がる観光「地帯」となることで、欧州の名所の縮小版のようになり、地元の人々にとっても魅力的な街になれば、さらに人々を呼ぶことになる。経済力が大都市に集中してしまい、これという産業がない徳島を盛り立てるのに観光産業は良い手かも。

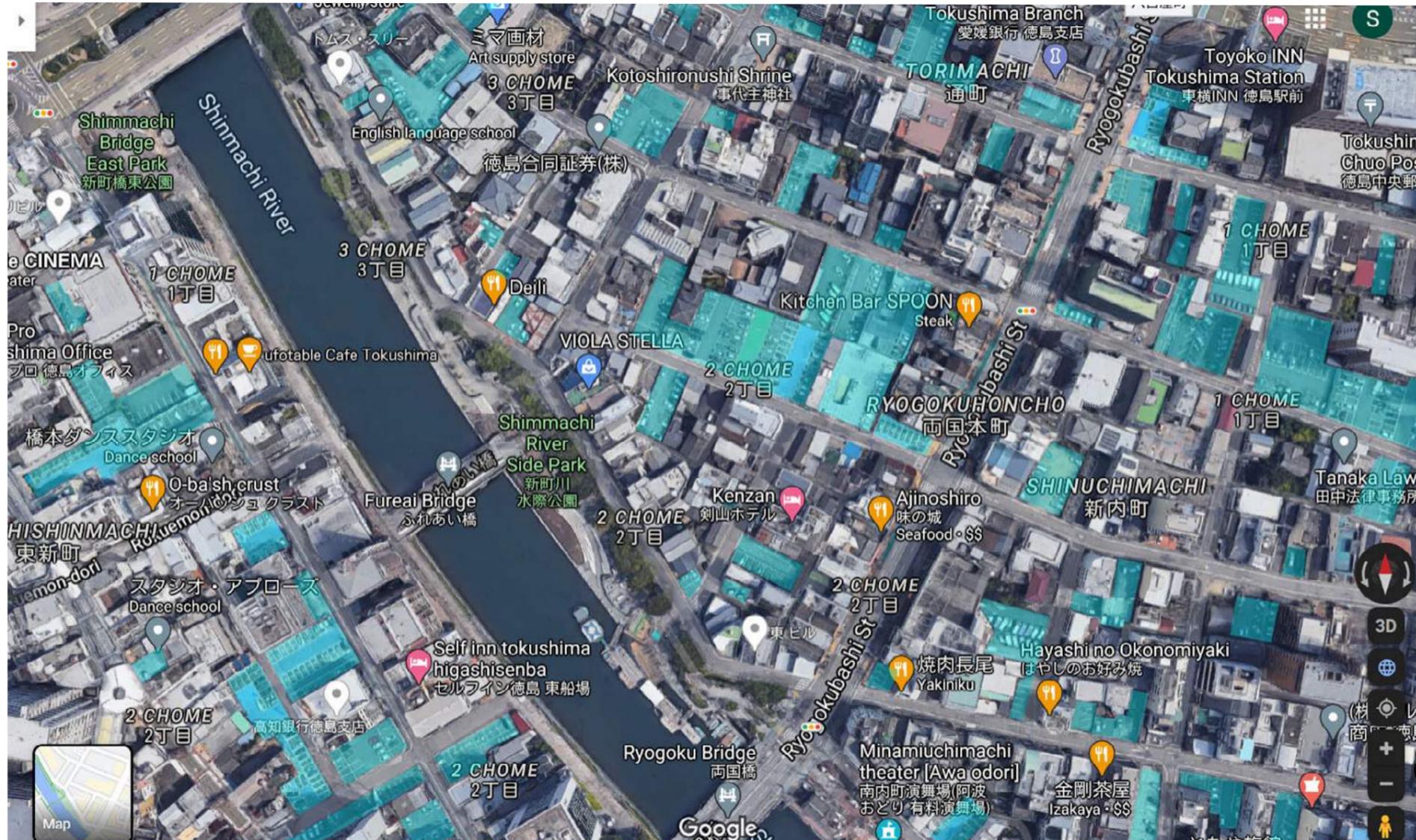
現況

しかし、木を切り倒して駐車場に、 両方向通行の車道にすると……



一方通行と緑道化で、通行に5%だけ余計に時間が掛かっても、人々が楽しく歩けるようになる効果は100%。のどかな徳島には時間はたっぷりある!

徳島中心部の駐車場は今



増え続ける殺風景な駐車場は、町並みのたたずまいを壊し、街での体験が楽しくなくなる……観光客は滞留したいとおもわないし、市民は用事がないと外に出なくなる。

大型店周辺とは異なる、「街の魅力」が必要……
緑化、緑道化を奨励してはどうか？

小さな点をループで繋いで、面にすると… 自然に「はしご」してしまう



主要公共施設、商業地区、公園などを緑道ループで繋いで、街を「点」の集まりから「面」に変える
一方で、新聞社、放送局、大学もギャラリーや講演会、公開講座などの
定期的に文化イベントを開催してもらい、「点」も増やす。

緑道化の例

ビフォー



アフター



きめ細かい対応を

電線の真下は避けた高木。剪定不要種

民家近くは落葉の少ない樹種。

既存樹木(学校、寺社、公園など)を借景
街路樹で補間して連続させ、長大な緑道化
をする

ビフォー



アフター



きめ細かい対応を
電線の真下は避けて、手間のかか
らない樹種

剪定不要の樹種

民家近くは落葉の少ない樹種

ビフォー



アフター



一方通行を増やす

電線の真下は避けて
電信柱の無い側には高木を、

場所、条件に合った、きめ細かい対応を

ビフォー



アフター



きめ細かい対応
一方通行化

電線の真下は避けて
電信柱の無い側には高木を、
ある側には横に広がる樹種を。

民家近くは落葉の少ない樹種

ビフォー



アフター



きめ細かい対応を
電線の真下は避けて
電信柱の無い側には高木を、
ある側には横に広がる樹種を。

ソゴウ付近

ビフォー



中が見えず、賑わいが外ににじみ出ない。
使われない歩道橋が眉山への視線をさえぎっていて、あちらに行ってみようか、という気にならない。

アフター



中がよく見えるオープンな建物に改修

中の賑わいが人々をさらに呼び込む。
(店頭の長い列はさらに客を呼んで、もっと長くなる。
実際に人が中で動いているのと、垂れ膜とは大違い)

観光客や住民が歩いて出たくなる華やいだ雰囲気。

図書館のロビーを設け、利用者が更に利用者を誘う。

眉山へ視界が繋がって、人々を眉山や新町に誘う。
街が点の集まりから、面として広がる。

オープンな建物の例



通りから中がよく見える建物、中の賑わいが人々をさらに呼び込む



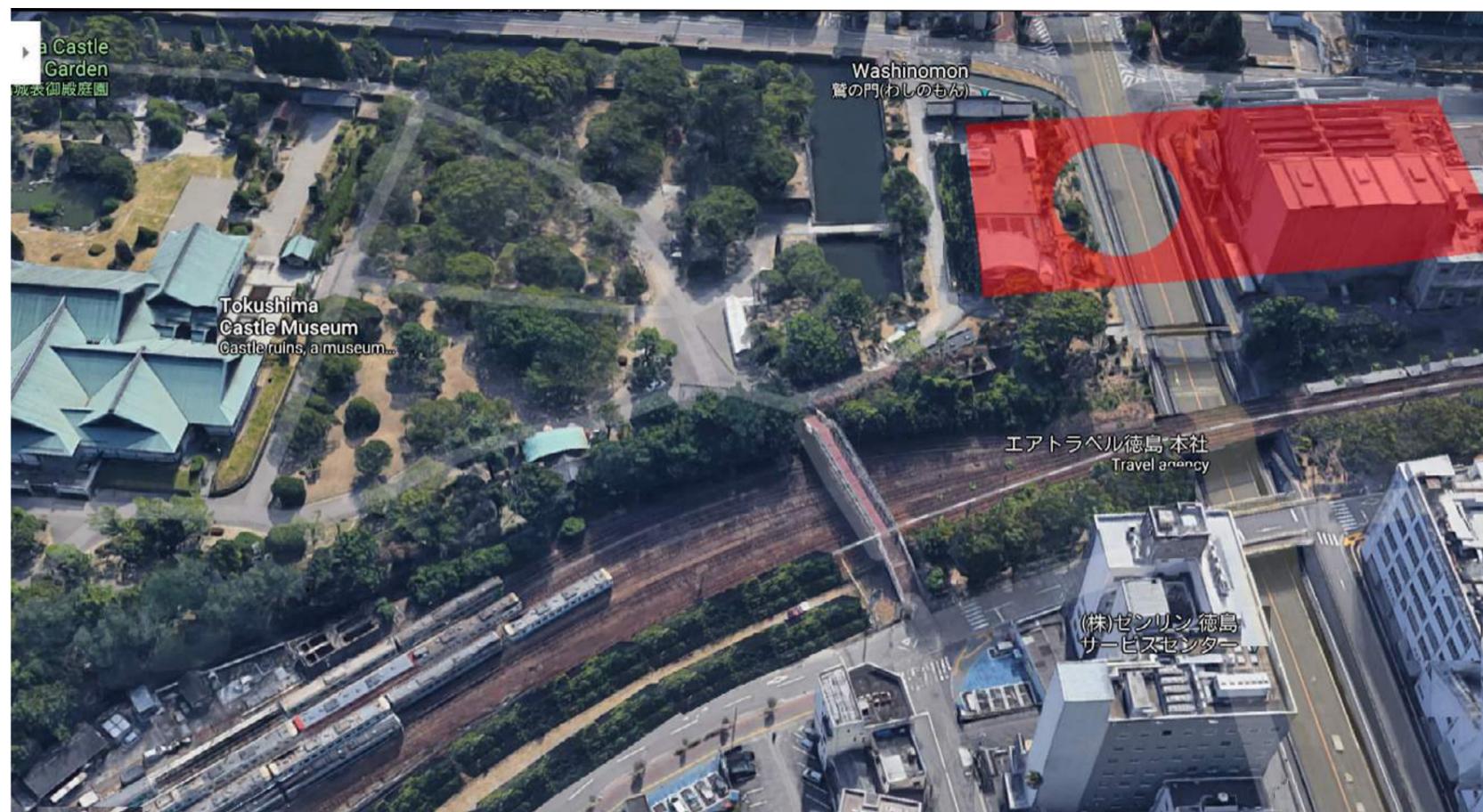
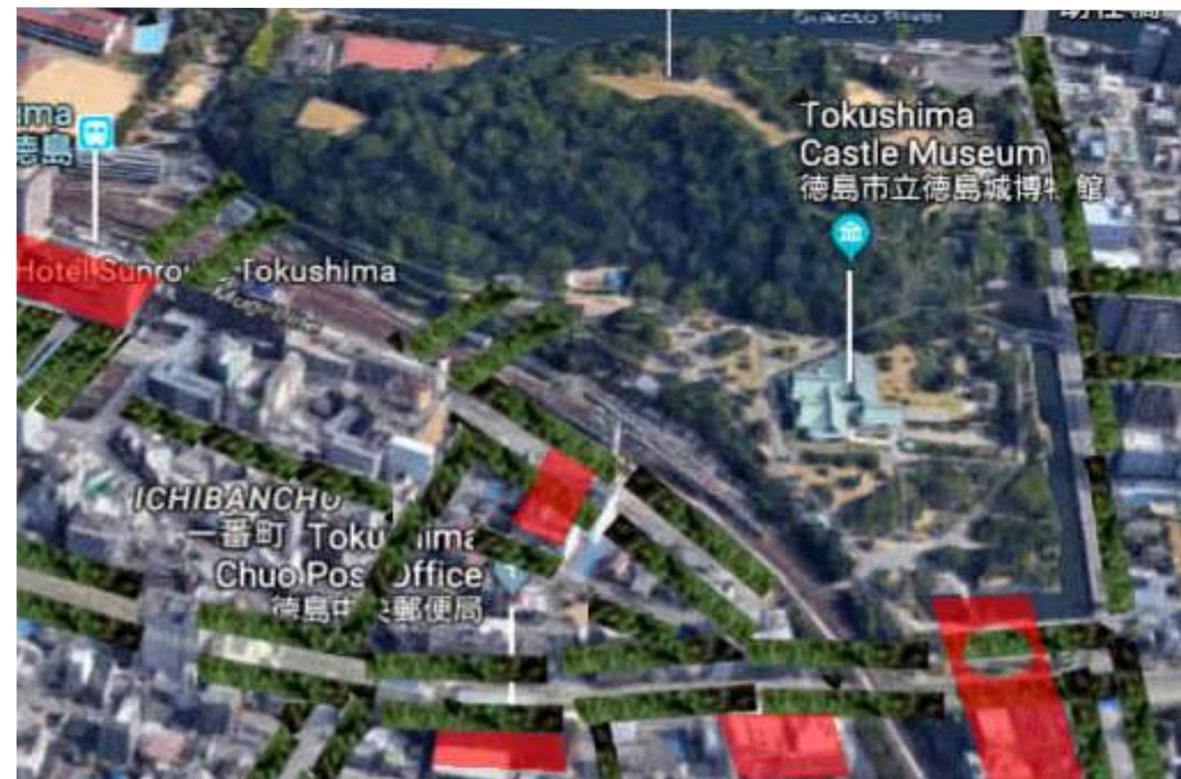
楽しそうな雰囲気が外にシミ出る



新文化センターと 城山中央公園

中央公園と徳島駅駅前を直接繋ぐ歩道橋によって中央公園が中心部に仲間入りし、公園に大勢の市民が気軽にアクセス、利用できるようになる。
(もし操作場も含めて線路がすべて高架になれば市街中心部と一繋がりになる。)

名ばかりの中央公園ではなく、大勢の地元、訪問客が簡単に歩いて行けて楽しめる、本当の意味での中央公園になる。都市の魅力が飛躍的に増え、強くて印象的な徳島のイメージが形成される。



文化会館が中央公園の中にできたような感じになるように、立体交差 中央公園と繋げる。線路を跨いで街の中心部とも繋げる。

自転車道網

市内の緑道に自転車道を併設して、県下のシーニックな自転車道網計画に繋げる。

市内の自転車道網が遍路ルートなど名所と繋げる。市民は危険でリラックスできない主要交通路を避けて、県南、県西へと気軽に一日旅行ができる。訪問者も美しい自然の中をゆっくりと自転車旅行ができるようになる。

徳島市を地元や訪問者の自転車旅行の中心ハブと位置付ける。観光客の滞留を促す。

県民や市民の生活として定着すれば、健康を推進して、医療費の軽減に繋がる可能性。

海岸、農道、旧道、堤防だけを通る県内ルート
[TinyURL.com/tokushimamaproposal](https://tinyurl.com/tokushimamaproposal)



アムステルダム



市内自転車道と
県内ルートが接続

パイロット地を選んで

最初は点状に投資を集中投下して、効果をアピールしてはどうか？
地元の賛同を得て、次第次第にひろげてゆく。

ビフォー



アフター



ボランティアの協力体制を

ボランティアをバックアップする 公共団体

——主導するのではなく、

- 緑化ボランティアには道具や苗を配って、メンバーには出費がないようにし、労働力と時間だけを提供してもらう。行政は微小な出費。
- メンバーには目立つTシャツを配り、通り過ぎる人々に確実に認識をしてもらい、参加を勧誘するメッセージや連絡先を大きく印刷する。公共団体後援の組織であることを謳って、大運動の一環であることをアピール。
- 年数回、慰労会を開催して、ねぎらいと、メンバー間の親睦、情報交換をする。達成感と情熱が盛り上がる。
- 効率をあげるよう、作業を機械化。落ち葉集めなどは箒でなく、ブローアー使用。運転音もボランティアの存在をアピール
- 専門家による剪定技術、育成技術などの指導をしてもらう。
- 特に定年退職者をターゲットにした、参加呼び入れ、定期広報、随時キャンペーンなど手法を工夫する。



この庭園はボランティアによって世話されています
ニューヨーク市公園局

